【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2005-211566(P2005-211566A)
【公開日】平成17年8月11日(2005.8.11)
【年通号数】公開・登録公報2005-031
【出願番号】特願2004-25309(P2004-25309)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月29日(2007.1.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技領域を有する遊技機本体の前面側において開閉可能に設けられ、窓部を有してなる扉体と、
前記扉体の背面側に設けられ、前記窓部を介して前記遊技領域を視認可能とする少なくとも２枚の透明体、及び該透明体の外周に設けられる保持部を有してなる透明体ユニットとを具備してなる遊技機において、
前記保持部は、前記各透明体を所定間隔で保持する保持部本体と、
前記保持部本体に埋設され、前記保持部本体よりも硬質な素材よりなる骨部材とから構成されていることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記骨部材に沿うように当該骨部材にほぼ接触して線状部材が埋設され、
前記線状部材の一端は、前記保持部本体から突出するよう構成され、
前記線状部材の一端を引っ張ることで、前記保持部本体が周方向に沿って破断され、前記骨部材を露出させることができるようになり、前記骨部材を前記保持部本体から取出可能となることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記骨部材には、前記線状部材を嵌合する嵌合溝が周方向に沿って形成されていることを特徴とする請求項２に記載の遊技機。
【請求項４】
前記保持部本体に薄肉部が形成されるように、前記骨部材が前記保持部本体内において偏って埋設されていることを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載の遊技機。